

令和元年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は 39,754 人で前年より 2,254 人減少し、人口千対の率は 7.9（前年 8.3）であった。

合計特殊出生率は 1.44 で、前年の 1.49 を 0.05 下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は 54,099 人で、前年より 790 人増加し、死亡率（人口千対）は 10.7（前年 10.6）であった。

死因順位の 1 位は悪性新生物、2 位は心疾患、3 位は肺炎、4 位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物 29.0%、心疾患 11.6%、肺炎 7.4%で、以下脳血管疾患 7.0%、老衰 6.1%と続いている。

● 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-14,345 人で、前年の-11,301 人より 3,044 人減少し、自然増減率は-2.8 で、前年の-2.2 を 0.6 下回った。

● 死産数は減少

死産数は 911 胎で、前年の 955 胎より 44 胎減少し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は 22.4 で、前年の 22.2 を 0.2 上回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は 25,777 件で、前年の 25,265 件より 512 件増加し、婚姻率（人口千対）は 5.1 で、前年の 5.0 を 0.1 上回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は 9,774 件で、前年の 9,624 件より 150 件増加し、離婚率は 1.94 で、前年の 1.91 を 0.03 上回った。